

微小種子類ノ辨別ニ「スンプ」ノ應用

東京帝國大學醫學部藥學科

原 田 菊 野

Miss Kikuno HARADA: Diagnosis of minute Seeds by Means of the Impressions upon Celluloid-membrane („Sump“-Figures).

藥用ノ種子類デ其ノ形ガ小サイモノハ罌粟子、地膚子、青葙子、紫蘇子、等等デアルガ小サイ者デアルダケニ似寄リノ者ヲ以テ混合トカ偽造サレタ場合ニハ中々始末ノ惡イ者デアル。ソコデ之等ノ小サイ種子類ノ鑑別ニハ顯微鏡モ大イニ必要デスガ何分薄イ切片ヲ作ルノニ骨ガ折レルカラ表面ノ印刻法即チ**スンプ**ヲ應用シテ見ヤウト思タノデアル。**スンプ**ト云フノハ受賞以來有名ニナツタガ Suzuki's Universal Micro-Printing ノ頭文字ヲ綴リ合セタ名稱デ其大要ハ**セルロイド**ノ薄板上ニ醋酸**アミール**ヲ主トシタ液ヲ落シテ柔クシ其柔イ**セルロイド**ノ面ヲ物體ニ押シ着ケルト物體ノ表面ガ持テ居ル凹凸ニヨリ其表面ノ狀態ヲ寫シ取ルコトガ出來ル。原理ノ簡單ナ割合ニウマク出來ルモノデアル然シ初メテ見ルト色々ノ困難ガアルノハ當然デアルガ形狀類似ノ者ヲ見付ケル事ト材料ヲ集メルコトトガ其ノ尤ナル者デアツタガ幸ニシテ諸方面ヨリ有力ナル助言ヲ賜ハリ又材料ヲ供給サレタ事ニ對シテ冒頭ニ深キ謝意ヲ表スル。然シ末ダ充分トハ思ハレスガ兎モ角モ發表サセテ戴ク。

第一 青 葙 子

先ヅ青葙子ト云フノガアル極メテ小サク 1mm 位ノ眞黒ノ光澤アル扁平ノ種子デアル。此者ハ本草和名ヤ和名類聚鈔デハウまさく、又ハあまさくトアリ、江西本草綱目ニハのげいとうト振假名ガアルカラ青葙子ガのげいとう *Celosia argentea* L. ト云フコトハ大分古カラ知ラレテ居タ者ラシイ。所デ此ノ種子ニ似タ者ヲ出來ル丈ケ澤山ニ集メテ**スンプ**法ヤ外形デ區別ガ出來ルカ否カラ見ヤウトシタ者デアツテ先ヅ同科ノ者ノ中 *Celosia* けいとう屬、*Amarantus* ひゆ屬、*Altenanthera* つるのげいとう屬、*Deeringia* ひもかづら屬、*Euxolus* 屬、等デ *Celosia* 中ノのげいとうトけいとうトハ區別ガ判然トシナイガ他ノ者ハ何所カデ區別スル事ガ出來ル。

本草綱目啓蒙ニハ桃朱術或ハ紫堇即チむらさきけまんデアルトシテ青葙子ノ項ニ附トナツテ居ル。

又コレニせきちく科 *Caryophyllaceae* ノ *Cucubalus* なんばんはこべ屬及ビすべりひゆ科 *Portulacaceae* ノ *Portulaca* すべりひゆ屬等ニツキテモ同様ノ方法デ検査ヲ行ツタ。

其ノ外形ハルーベ及ビウルトロパーク (Ultropak, 反射光線ニヨル照光装置) ヲ用ヒ表面ノ構造ハスンプ法ヲナシテ顯微鏡下デ檢シタ。是等上記ノ種子ハ何レモ黒色又ハ赤褐色、黄色、橙黄色ヲ呈スル光澤アル種子ニシテ其ノ大キサノ大略ハ次ノ如クデアル。但シ其ノ測リ方ハ顯微鏡下デ廓大シテマイクロメーターヲ用ヒタカラ比較的正確ト思フ之ヲ表ニシテ次ニ掲ゲル。

種 子 名	臍點ヲ起點トシテ其反 對ノ極迄ノ長さ	同様ノ假想線ニ直角ニ シテ最長ノ距離
<i>Corydalis lutea</i> DC.	1.86—1.78 mm	1.78—1.71 mm
むらさきけまん	1.79—1.5	1.79—1.64
なんばんはこべ	1.64—1.57	1.78—1.64
のげいとう	1.5 —1.07	1.5 —1.15
みやまきけまん	1.43—1.3	1.71—1.43
けいとう	1.43—1.07	1.71—1.21
ひもかづら	1.3 —1.07	1.3 —1.14
いぬびゆ	1.3 —1.14	1.21—1.07
じらうぼうえんどさく	1.21—1.07	1.42—1.21
しろびゆ	1.29—1.14	1.07—1.0
はげいとう	1.29—1.07	1.07—0.86
つるのげいとう	1.21—1.0	1.07—0.93
ほそばつるのげいとう	1.07—0.93	1.0 —0.86
ひゆ	1.07—0.86	0.93—0.86
すぎもりげいとう	1.14—1.0	1.07—0.93
あをびゆ	1.07—0.86	1.0 —0.86
はひびゆ	1.07—0.93	0.86—0.79
はりびゆ	0.93—0.86	0.93—0.79
いんどひもかづら	0.86—0.71	0.71—0.64
すべりひゆ	0.85—0.64	0.78—0.57

以下一ツツヲ詳説シタイノデアルガ類似シタ者ヲ集メテ見ルト *Celosia* *Amarantus*, *Altenanthera*, *Deeringia*, *Corydalis*, *Cucubalus*, *Portulaca* ノ 7 型ニ分チ得ルカラ夫々ノ型ニ就テ説明スル。

1. *Celosia* けいとう屬*Celosia argentea* L. のげいとう*C. cristata* L.

此ノ兩者ヲルーペ及ビウルトロパークヲ以テシ検査シテ見ルト、のげいとうハ扁壓シタ圓形ヲナス者多ク、けいとうハ種々ノ形ヲナス者ガ多クアルト雖モコレニヨツテ兩者ヲ區別スル事ハ困難デアル。色ハ共ニ黑色又ハ僅カニ赤味ヲ帶ビタ黑色デ光澤ヲ有シ、**レンズ**様ニ扁平ナ圓形ノ者デ其ノ一部ガ凹ンデ凹部内ニ小サイ突起ヲ有シテ居ル、コレガ臍點デアル。其ノ表面ハ細カク區劃サレタ紋理ヲ見ルコトガ出來ル。

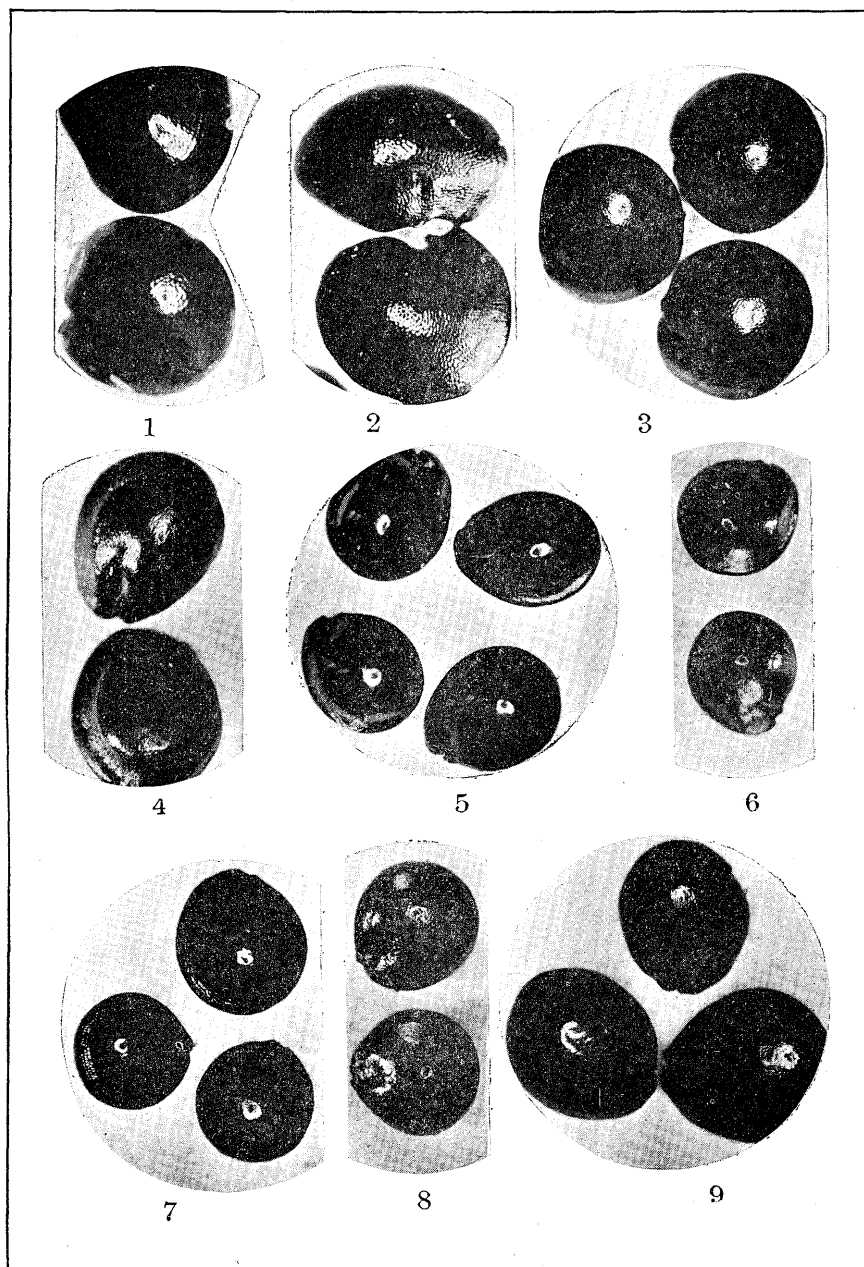
次ニ**スンプ**法ヲ行ヒ檢鏡シテ見ルト 22 圖、23 圖ニ示ス如クニ容易ク表面ノ區劃ヲ知ル事が出來ル。故ニ此ノ方法ニヨツテ兩者ノ區別ヲシヤウトシタガ甚ダ酷似シテ居リ其ノ望ハ逐ゲラレナカツタ。即チ共ニ稍直線の又ハ曲線のノ區劃線ニヨツテ作ラレル區劃ハ臍點附近デハ小サイ形ノ者ガ集合シテ居リ、種子ノ外邊即チ周圍デハ主ニ直線のノ區劃線カラナル長形ノ者ガ並列シテ居ル。此等ノ部分ヲ除イタ所ハ種々ノ形ヲシタ者ガ不規則ニ排列シテ居ルノヲ見ル。

2. *Amarantus* ひゆ屬ト *Euxolus* 屬トハ外形其他同ジ型デアルカラ此中ニ入レテ置ク、實驗シタ材料ハ次ノ如クデアル。

Amarantus albus L. しろびゆ*A. Blitum* L. var. *oleraceus* HOOK. f. いぬびゆ*A. gangeticus* L. はげいとう*A. inamoenus* WILLD. f. *viridis* MAKINO ひゆ*A. paniculatus* L. すぎもりげいとう*A. retroflexus* L. あをびゆ*A. spinosus* L. はりびゆ*Euxolus viridis* MOQUIN var. *polygonioides* MOQUIN. はひびゆ

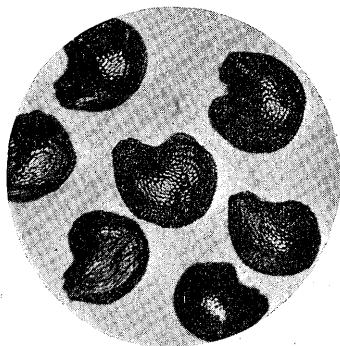
是等ノ中江西本草綱目ニハひゆガ莧トアリテ、其ノ子青莧子ト一様ニシテ辨ジ難シトアル、本草和名ニハ莧實一名馬莧、莫莧トアリテ和名比由ナリトアル、はげいとうハ江西本草綱目ニハ鴈來紅はげいとうトアリ、又本草綱目啓蒙ニハ鴈來紅はげいとう、がんらいさうトアリテ青莧ノ附録ニナツテキル。又重修植物名實圖考ニハ救荒本草 14 卷ヲ引用シテ鴈來紅ガはげいとうトナツテキテ「……比莧實^{ヤナ}差大」トアルガ大小ノ差ハ確カニ認メルガ**スンプ**ハ同型デアル。

以上 8 種ノ者ヲルーペ及ビウルトロパークニヨツテ見ルニしろびゆ、いぬび

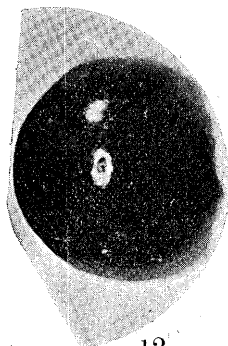




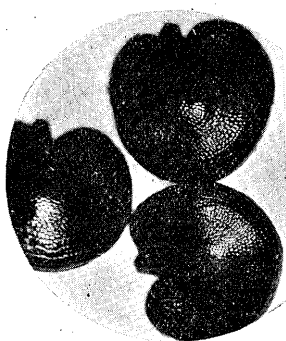
10



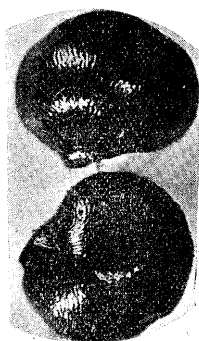
11



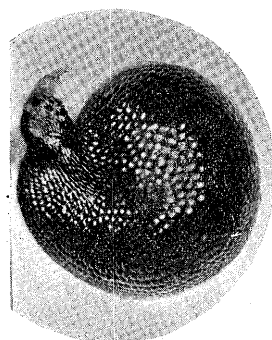
12



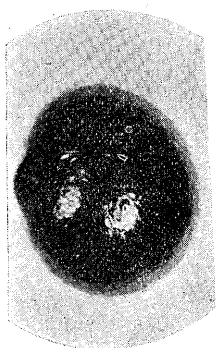
13



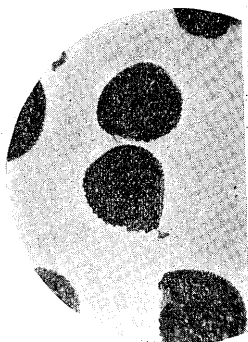
14



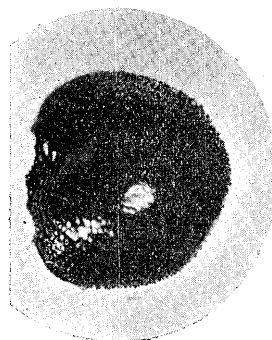
15



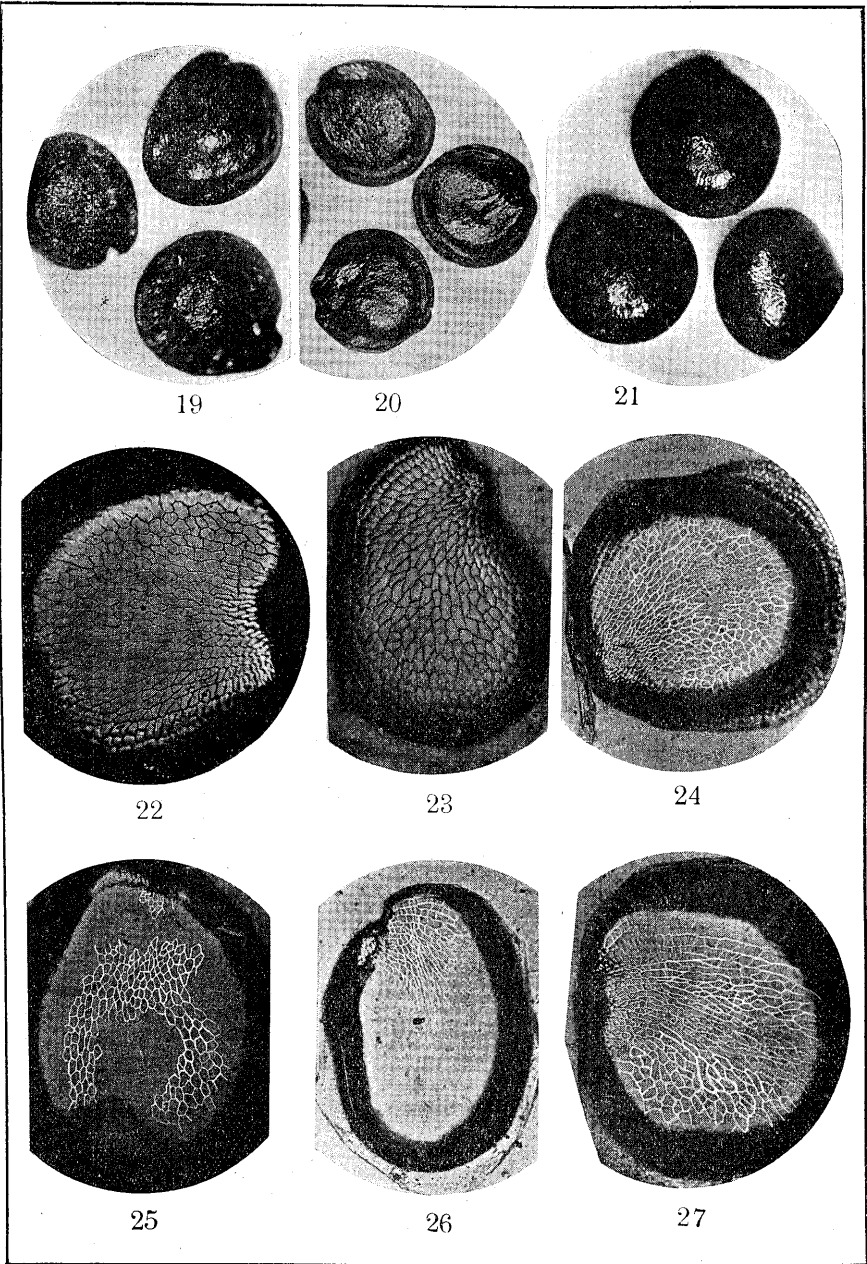
16

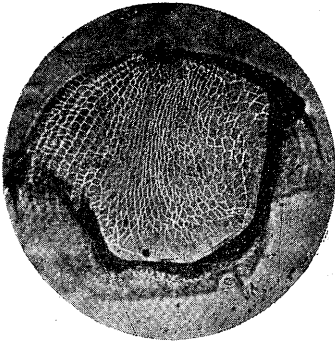


17

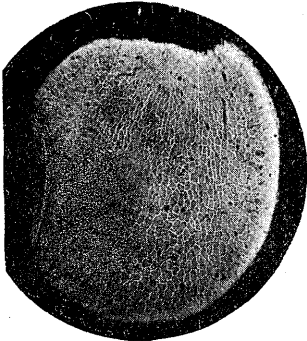


18

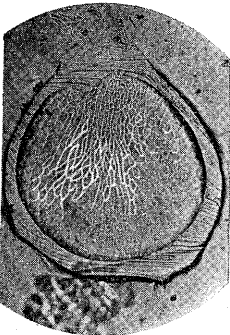




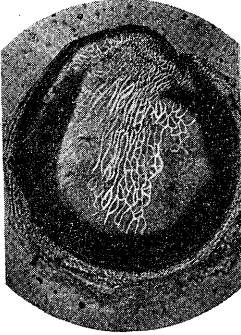
28



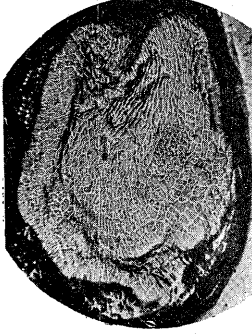
29



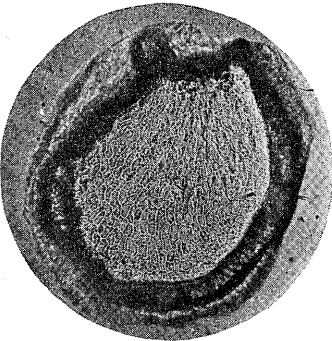
30



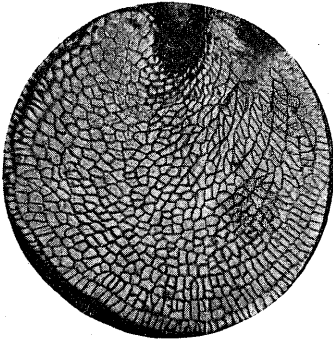
31



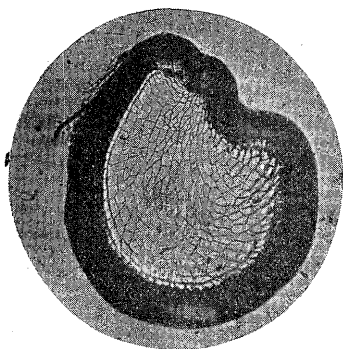
32



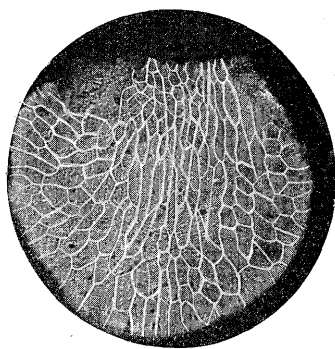
33



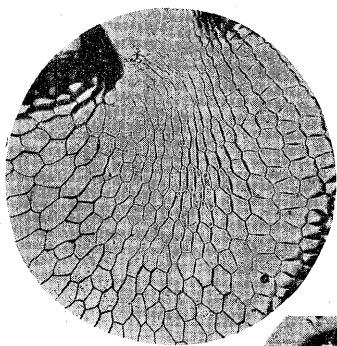
34



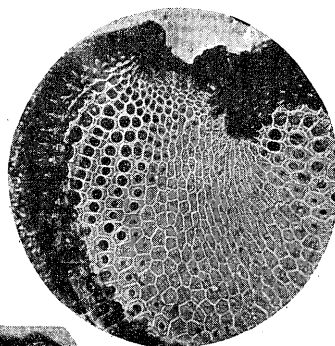
35



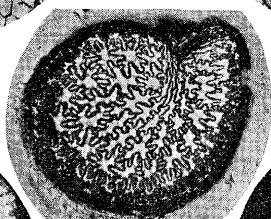
36



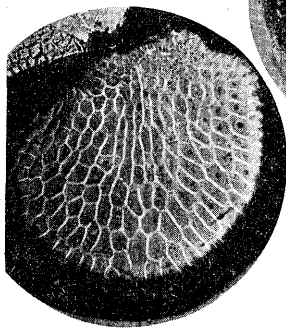
37



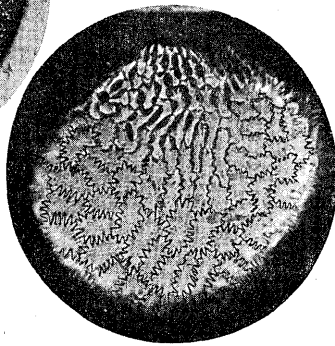
38



39



40



41

ゆ最モ大キク而シテいぬびゆハ外形扁圓形ノ者ガ多ク稍のげいとう＝似テ居ル色澤ハあをびゆ、いぬびゆ、ひゆハ黒色ヲ呈シ、はげいとう、はひびゆ、しろびゆ、はりびゆ、すぎもりげいとうハ赤褐色ヲ呈シイヅレモ光澤ヲ有シ表面滑カデアル、又臍點ノ部位ハ凹入スルガ略レンズ形ヲナスヲ常トスル、其ノ扁平ナル面カラ見タ所ヲ此ノ屬中ノ各種ニツキ比較スルト主ニ扁圓形ヲナス者ハいぬびゆ、いぬびゆニ稍似テ居ルモノハすぎもりげいとう、扁圓形ヲナス者ト臍點ニ向ツテ狹細トナル者即チ卵圓形ノ者ガ混合シテ居ル者ハはりびゆトあをびゆ、主トシテ臍點ニ向ツテ狹細トナル卵圓形ニシテ大キイモノハしろびゆ、小サイ者ハはひびゆ、臍點ニ向ツテ僅カニ狹細トナル者ハひゆ、はひびゆニ似タ形ノ者ト少シ圓形ニ近イ者トガ混合シテ居ル者ハはげいとう、ト略其ノ形狀ノ區別ガアルガ其表面ノ形態ハげいとう屬ニ見ルト同様ノ細カク區劃サレタ紋理ヲ見ル事ノ出來ル者ト出來ナイ者トアル、又多クハ臍點附近ハ明瞭ニ見ラレルガ中央部ハ少シ不明瞭ノ者アリ。

本屬ヲスンプシテ見ルト檢出困難ノ者ハ何トシテモ不明瞭デアルカラ之ハ實物其物ノ表面ガ此ノ様ナ狀態ノ者デアルト考ヘ其儘ヲ檢鏡シ撮影シタ。即チ一般ニ臍點附近ハ非常ニ區劃ガ明瞭ニ檢出サレソレヨリ中央部、周圍ノ部分ハ不明瞭デアル、然シ寫眞デ全然不明瞭ノ者デモ顯微鏡下デハ區劃線ヲ認メル者モアル、實驗シタ 8 種中すぎもりげいとう、あをびゆ、はげいとう、いぬびゆ等ハ稍明瞭ニ、しろびゆ、はりびゆ、はひびゆ、ひゆハ不明瞭デアル、即チ前者 4 種類ノ表面ハ直線的或ハ曲線的ノ區劃線ニヨツテ主ニ多角形ノ區劃カラナリ臍點附近ハ小サイ區劃ガ集合シ種子ノ外邊即チ周圍デハ稍並列シテ居ル、此ノ部分ヲ除イタ他ノ所ハ種々ノ形ヲシタ者ガ不規則ニ排列スル等けいとう屬ニ似テ居ルガ區劃ノ大キサハコノ屬ノ者ハ小サイ、又其ノ形ハ各々ニヨツテ少シ異ナルガコレニヨツテ各種ノ區別ヲスルコトハ困難デアル。後者ノ 4 種類ハ數回スンプ法ヲ行ヒ檢鏡シタ結果ハ何レモ臍點附近ハ明瞭デアルガ其他ノ部分デハ一部分或ハ殆ンド認メル事ノ出來ナイ者ガアル。

以上記シタ如ク其ノ表面ノ各區劃内ニ數個ノ突起様ノ者ガ存在スルノヲ檢スル場合ト檢シナイ場合トガアル、之ハ何レノ種子ニモ存在スル者デアアルガ種子其ノ者ノ末熟或ハ成熟ノ如何ニヨツテ起ル現象デアラウ。

3. *Altenanthera* つるのげいとう屬

Altenanthera nodiflora R. Br. ほそばつるのげいとう

A. sessilis R. Br. つるのげいとう

つるのげいとうハ植物名實圖考ニ滿天星ほしのげいとうトシテアリ同時ニ救

荒本草ニ蓮子草トシテ出テ居ルトアル。ほそばつるのげいとうハつるのげいとうニ比ベテ稍小サイ。今兩者共ニ之ヲルーペ及ウルトロパークニテ檢スルトキハ其色種子ノ外邊ハ黃色ヲ帶ビ中央ハ橙色ヲ呈スル光澤アルモノニシテ色ニヨツテ容易ニのげいとうト及ビ其ノ他ノ類似品ト區別スルコトガ出來ル。其ノ形狀ハ扁壓シタ略圓形ノ者ガ多ク臍點ノ部分ハ凹入シコレヨリ兩面ノ中央ニ行クニ從ツテ凸出スルヲ見ル。

此者ハ色ニヨツテ容易ニ他ノ者ト判別出來ルガ更ニスンプ法ヲ行ヒ表面ヲ觀察シタ、然シつるのげいとうハ腊葉ニシタトキニ多小收縮シ其ノタメニ種子ノ表面ニ皺ヲ生ジ檢鏡スルニ際シ稍困難デアアルガ區劃線及突起等ハ少シ皺ヲ生ジタ者ガカヘツテ明瞭デアアル、即チ臍點附近ハ多角形ノ小サイ區劃ノ集合ニヨツテ形成サレテ居リ其他ノ部分ハ直線又ハ曲線ノ區劃線ニヨツテ長形ノ者及其他種々ノ形ヲシタ者カラ作ラレテ居ル、又ひゆ屬ト同様ニ各區劃内ニ數個ノ突起様ノ者ガ存在シテ居ルヲ見ル。ほそばつるのげいとうハ以上つるのげいとうト殆ンド同様デアアル。

4. *Deeringia* ひもかづら屬

Deeringia celosioides R. BR. ひもかづら

D. indica ZALL. いんどひもかづら

ひもかづらトいんどひもかづらトハ前記大キサノ表ニヨリ容易ニ區別出來ル種子デアアル。今之等ルーペ及ウルトロパークニテ依ツテ檢スルニ黑色ノ光澤アル扁壓シタル者デ多小不同ハアルガ弧曲シテ居リひもかづらハ凹入部ニ突起ガアリ、いんどひもかづらニアリテハ可成リ大キク凹入シテ居ル。

スンプ法ハ薄板法ニヨツテ容易ニ且明瞭ニスンプスル事ガ出來ル、即チ表面ハ直線的ノ區劃線ニヨツテ多角形ヲナシ臍點附近ハ小サイ者ガ集合シソレヨリ中央ノ凸出セル部分邊リ迄ハ不規則ニ排列スルガ周圍ノ部分ハ多クハ長形ノ者カラナツテ並列シテ居ル、排列ノ狀態ハ稍のげいとうニ似テ居ルガ此ノ者ノ區劃ハ小サイ、以上いんどひもかづらトひもかづらトハ同様ノ觀ヲナスガ前者ニテハ區劃内ニ數個ノ突起様ノ者ノ存スルモノト1個ノ突起ヲ有スル者トアリ、而シテ1個ノ大キイ突起ヲ有スル區劃ハ主トシテ種子ノ外邊ノミデアアル。

5. *Corydalis* やぶけまん屬

Corydalis decumbens. PERS. じらうぼうえんどさく

O. incisa PERS. むらさきけまん

C. lutea DC.

C. pallida PERS. みやまきけまん

今上記4種類=ツイテルーペ及ビウルトロパークにて觀察シテ見ル=イツレモ黑色=シテ光澤ガアル。然シテむらさきけまんハ表面滑澤デ其ノ形扁壓シタ略圓形ヲナシ臍點ノ所ダケハ凹ンデ居ルガ略レンズ形ヲシテ居ルケレド最厚部ハ偏シテ居ル、じらうぼうえんどさくハ其ノ外形ハ扁壓シタ種子デ臍點ノ所ハ寧ロ凸出シテ居ル、表面ハ細カク區劃サレタ紋理ヲ有シ外邊ハ突起=ヨル凸凹ヲ明瞭=見ルコトガ出來ル。寫眞=テハ少シク不明瞭=思ハレル。みやまきけまんハ形じらうぼうえんどさく=似テ少シク大キイ、表面=存スル區劃内ノ突起ハ1個デ前者ヨリ尖リ且明瞭=認メラレル。此ノ突起ハ何レモ種子ノ中央部=ハナクテ臍點ノ所ハ稍少ナク外邊=ハ多數存在スル。*C. lutea* DC. ハ *Corydalis* 中最モ光澤ヲ有シ其ノ形ハ扁圓形ヲナシ臍點ノ部位ハ他ノ者=比較シテ著シク突出シタ突起ヲ有スル、其ノ表面=ハ細カク區劃サレタ紋理ヲ見ル、但シむらさきけまんト同様=突起ヲ有シテ居ナイ。

此等ノ者ヲ**スンプ**=ヨツテ顯微鏡下デ檢スルトキハ上記ノ4種ノ中むらさきけまんハ**スンプ**=依ル觀察困難デアルガじらうぼうえんどさく、みやまきけまん、*C. lutea* DC. ノ3種ハ容易=區劃ヲ知ルコトガ出來ル、而シテ此ノ中むらさきけまん、*C. lutea* DC. ハ其ノ表面區劃ハ同ジク直線的ノ區劃線=依ツテ形成セラレテ居ル、區劃ノ排列ハのげいとう=類似シテ居ルガ其ノ各々ノ大キサハのげいとう=比較シテ大キイ。又みやまきけまん、じらうぼうえんどさくハ區劃ノ大小排列等ハむらさきけまん等ト同様デアルガ此二者ガ前者ト異ナル點ハ1個ノ突起ヲ有スル區劃ガ此二者=存在スルコトデアル。殊=みやまきけまん=アリテハ寫眞=テモ見ル如ク=じらうぼうえんどさくヨリモ更=尖ツタ突起ヲ有スルヲ見ル、此突起ノ存スルノハ主=種子ノ外邊=最モ多ク臍點附近ハ少ナク中央部=ハ殆ンド存在シナイ。

6. *Cucubalus* なんばんはこべ屬

Cucubalus baccifer L. var. *japonicus* Miq. なんばんはこべ

之ヲルーペ及ビウルトロパーク=ヨツテ檢スルトキハ色ハ黑色=シテ光澤アリ、其ノ形ハ略圓形ヲナシ臍點ノ部分ハ僅カ=凸出スル。表面ハ直線的ノ區劃線=ヨツテ特異ノ形ガ作ラレテキル。

コレヲ**スンプ**法=ヨリテ檢鏡スルトキハ寫眞=モ見ル如ク=臍點附近ハ直線的ノ區劃線=依ツテ作ラレルガコノ區劃ハ急=鋭キ波狀ノ區劃線=變リ特異ノ形狀ヲナス。

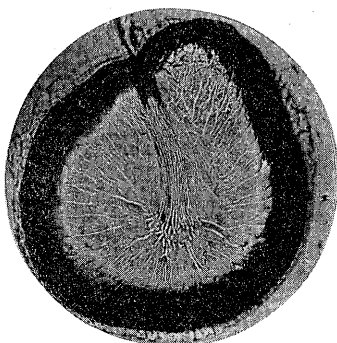
8. *Portulaca* すべりひゆ屬

Portulaca oleracea L. すべりひゆ

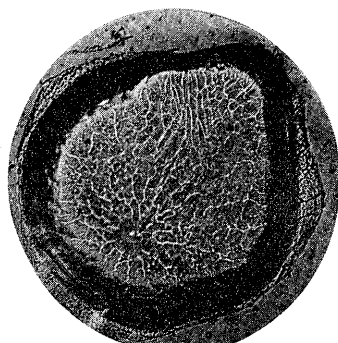
此ノ種子ハ以上記載シタ種子ノ中最モ小サイ者デアル。此者ヲルーペ及ウルトロパークデ見ルト色ハ赤褐色又ハ黄橙色ヲ呈シ、其ノ形ハ鈍三角形デ稍尖ツタ所ノ一寸下ニ臍點ガアル、臍點カラ中央部迄以上ノ者ト異ナリ反對ニ凹ンデ居ル、表面ハみやまきけまん等ニ見ル様ナ突起ヲ多數ニ存在スルヲ見ル。

之ヲスン

プ法ニ依ツ
テ檢鏡スル
トキハ容易
ニ其ノ區劃
ヲ知ル事ガ
出來ル、即
チ其表面ハ
波狀ヲナス
區劃線ニ依
ツテ作ラレ



42



43

且此ノ不定形ヲナス區劃内ニ小サイ突起ヲ不規則ニ排列シテ居ルヲ見ル。

扱市場ノ青茄子ヲ見ルト以上ノのげいとう、けいとうノ外ニ多クノひゆ屬ノ種子ガ混合シテ居ル、其ノ外ニ時々全然形ノ違ツタ者即チ黄色デアツテ果實ノ儘デ混入シテ居タ、之ハ *Chenopodiaceae* ノ *Chenopodium album* L. var. *centrorubrum* MAKINO あかざデアツテ其ノ種子ハ *Amarantaceae* ノ者等ト同ジク黑色デアリ外形モ稍似テキルガ之ヲスンプニヨツテ檢鏡スルトキハ寫眞ニモ見ル如クニ全く違ツタ形狀ノ區劃デアリ且其ノ面ノ方向ニヨツテ模様ガ違フ者カラ出來テ居ル。

尙仔細ニ市場品ヲ調べルトドンナ者ガ飛ビ出スカ分ラヌ。

以上種々ノ事ニ付キ直接御指導下サイマシタ朝比奈先生ト藤田先生及ビソレニ色々ト御世話ニナリマシタ教室ノ皆様ニ深く感謝シマス。

實物寫眞	スンプ寫眞	植物名	實物寫眞	スンプ寫眞	植物名
1 圖	22 圖	のげいとう	13 圖	34 圖	ひもかづら
2 圖	23 圖	けいとう	14 圖	39 圖	じらうぼうえんどきく
3 圖	27 圖	いぬびゆ	15 圖	37 圖	C. lutea DC.
4 圖	25 圖	しろびゆ	16 圖	40 圖	なんばんはこべ
5 圖	26 圖	はひびゆ	17 圖	41 圖	すべりひゆ
6 圖	31 圖	はりびゆ	18 圖	38 圖	みやまきけまん

實物寫眞	スンプ寫眞	植物名	實物寫眞	スンプ寫眞	植物名
7 圖	24 圖	あをびゆ	19 圖	32 圖	つるのげいとう
8 圖	30 圖	びゆ	20 圖	33 圖	ほそばつるのげいとう
9 圖	29 圖	はげいとう	21 圖	42 圖	あかざ
10 圖	28 圖	すぎもりげいとう	43 圖	〃	
11 圖	35 圖	いんどひもかづら			
12 圖	36 圖	むらさきけまん			

再ビ畸形ノほしだニ就キテ

久 内 清 孝

Kiyotaka HISAUCHI : More about on a teratological form of
Dryopteris acuminata NAKAI

本誌第 10 卷 1 號ニ於テ伊豆下田産ノ畸形ほしだニ就イテ述ベサセテ頂イタガ、其時更ニ此ノ件ニ就テ再ビ述ベルコトヲ約束シタ。依テ以下イサ、カ述ベテ見タイト思フ。余ハ第 10 卷 第 1 號ニ於テ、アノ時掲出シタ寫眞ニ相當スルモノハ、小泉博士ノいよほしだナラント云ツタガ、元來いよほしだナルモノハ、第一羽片ノミガ二回羽狀ナルニ、アノ圖ノモノハ第二羽片マデ二回羽狀ニナツテ居ル。此點ニ於テいよほしだニハビツタリト當ハマラナイ。從ツテ大イニ再考シナケレバナラナイト思ツタ。其レ故、昨年十二月、マタ、伊豆ノ下田ニ行キ、同一個所ニ就キ自分ヲ満足サセルベク充分ノ探查ヲ行ツタ處、前掲寫眞ノモノニ該當スルモノハ殆ンド無ク、此處ニ掲出スル寫眞ノ如クいよほしだノ原記載ニ相當スルモノ約 40 ヲ得タ。然シテ其一部ハ東大ノ腊葉室及ビ科學博物館ニ置キ、他ノ一部ヲ京都ニ送り小泉源一博士ノ高鑑ヲ煩シタル所、小泉博士モいよほしだノ太鼓判ヲ押サレタ。ソレ故、コノ者ノ產地ハ西ノ方伊豫カラ東ノ方伊豆ニ飛シダコトニナツタ。箱根以東ニハ昔カラ化物ハ居ナイ筈ダカラ、關東ニ現在無イノハ當然デアラウ。シカシ、何レノ日何人ガ見付ケルカハ豫斷出來ナイ。

サテ、コンナ者ヲ同一個所デ 40 モ採レバ、先ヅ余ハコノ羊齒ヲ充分ニ觀察シター一人デアルト言ヘルト思フガ、余ノ見タ處デハ、同一地下莖カラ普通ノ型